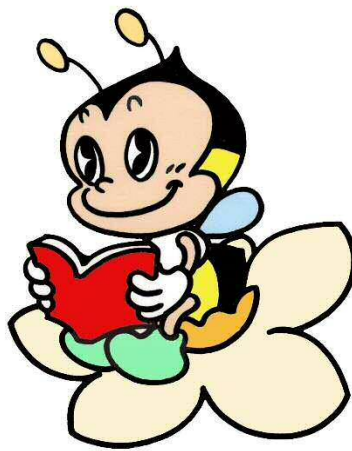


安八町子どもの読書活動推進計画

本に親しみ、本を楽しみ、本に学ぶ
心豊かな子どもの育成



平成 28 年 3 月
岐阜県安八町

目次

I	安八町子どもの読書活動推進計画の策定について	1
II	子どもの読書実態調査アンケートの結果概要	2
	(1) 読書好きか	2
	(2) 読書好きな理由	3
	(3) 読み聞かせの家庭での実施状況	3
	(4) 音読から黙読への移行	5
	(5) 読書状況	6
	(6) 読書は大切か	8
	(7) 親の読書体験	8
	(8) ハートピア安八図書館の利用	9
III	読書関係施設の状況	10
	(1) 保育園	10
	(2) 小学校	10
	(3) 中学校	11
	(4) ハートピア安八図書館	11
IV	子どもの読書活動推進計画の基本方針	12
	(1) 子どもの読書の流れ	12
	(2) 子どもの読書活動推進計画の基本目標	13
V	子どもの読書活動推進計画の方策	15
	(1) 子どもが読書に親しむ家庭における読書推進	15
	(2) 子どもが本と出会い親しむ機会の充実と環境整備	15
	(3) 子どもの読書を支え、推進する体制の整備	16
VI	参考資料	18
	子どもの読書活動の推進に関する法律	18
	子どもの読書実態調査アンケート（対象：5歳児）	21
	子どもの読書実態調査アンケート（対象：小学2・5年生・中学2年生）	24
	安八町読書環境調査	29
	安八町子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱	34
	安八町子ども読書活動推進計画策定委員会名簿	35

I 安八町子どもの読書活動推進計画の策定にあたって

急速な情報化社会の進展は、大人のみならず子どもたちを取り巻く生活環境にも大きな変化をもたらしました。テレビやビデオ、ゲーム機などの旧来型メディアに加え、インターネット、さらに携帯端末の普及は、利便性とともな課題も浮き彫りとなっています。

読書については、情報メディアの多様化だけに原因を求めるわけにはいきませんが、子どもの「読書離れ」「活字離れ」が言われて久しい状況にあります。そうした状況に、子どもの読書は「欠くことのできないもの」とし、平成13年に「子どもの読書の推進に関する法律」が施行され、国レベルの子どもの読書の推進が図られています。併せて、県、市町村にも子どもの読書活動の推進に関する計画を策定するよう求めています。

当町では、旧来から総合計画の重点施策である「子どもたちの歓声のあがるまちづくり」を受け、子どもたちを安八町の宝として応援する子育て支援策があり、保育園、小学校、公民館などで、子どもの読書の重要性に鑑み、それぞれで読書活動が展開されてきました。それは、牧小学校の学校図書館活動に顕著にあらわれています。また、平成15年に開館したハートピア安八図書館の活動は、子どもの読書のバックボーンとなり、さらに普及・充実が図られました。ちなみに、その資料貸出点数は全国でもトップクラスを維持しているように読書環境整備のみならず、子どもの読書支援が実施されてきています。

そんなことから、「子どもの読書活動推進計画」がなくても、十分に読書活動が行われているのだからとの思いがあり、読書推進計画を策定することなく経緯してきました。そんな中、全国の各市町村の策定状況が半数を超えるに至り、遅ればせながら委員会を設置し、推進計画の策定をしたところです。

読書実態調査からは、安八町の子どもたちの読書環境は充実しており、読書習慣も相対的には身につけているといえると考えられます。しかし、個々で行われている読書活動の連携不足など、明らかとなった課題などもあります。

安八町の子どもたちが、「言葉を学び感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけて」（「子どもの読書活動の推進に関する法律」第2条より）いくことを目指し、『安八町子どもの読書活動推進計画』を策定いたします。

Ⅱ 子どもの読書実態調査アンケートの結果概要

子どもの読書活動推進計画を策定するにあたり、ハートピア安八図書館、学校、保育園などで読書に関わる活動が幅広く行われているとの認識があるものの、現状を把握・確認することから始めることとし、平成25年度に保育園年長（保護者）、小学2年生、小学5年生、中学2年生を対象としたアンケートを実施した。以下、アンケートの結果を見てみたい。

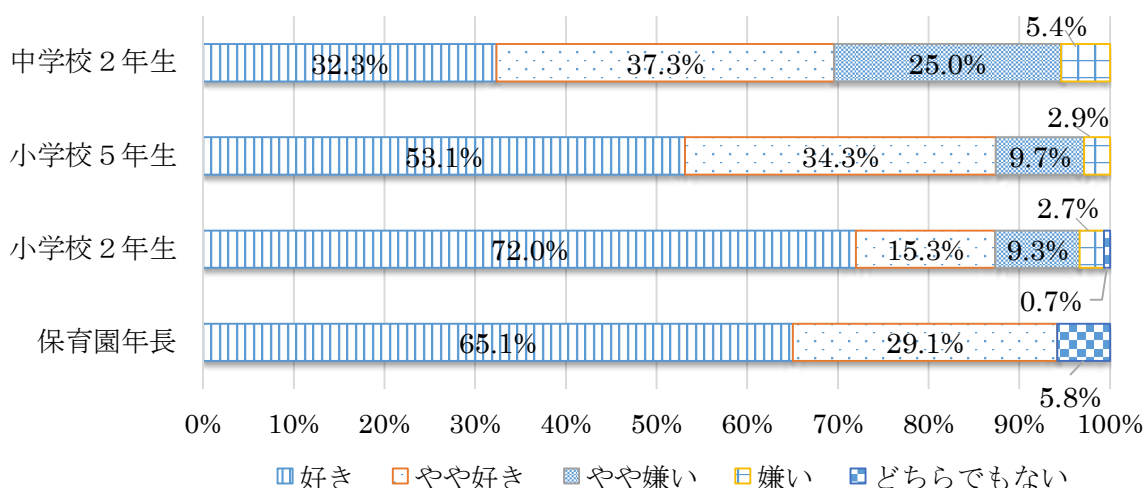
（表1）アンケート実施学年と回答数

区分	回答数	備考
保育園年長	103人	6 保育園
小学2年生	160人	3 小学校
小学5年生	175人	3 小学校
中学2年生	204人	2 中学校

実施:平成25年12月

（1）読書好きか

「あなたは本を読むのが好きですか」「お子さんは絵本が好きですか」の問い（図1）では、「好き」「やや好き」を合わせた回答は、保育園年長で94.2%であり、残りの5.8%も「どちらでもない」であり、「嫌い」との回答はなしであった。本嫌いで生まれてくる子はいないとの思いを確認できる結果であった。しかし、読書好き傾向は小学2年生では87.3%、小学5年生は87.4%、中学2年生で69.6%と学年が上がるごとに低減している。逆に読書嫌いが小学2年生では12.0%、小学5年生では12.6%と増加し、中学2年生ではさらに30.4%と高い数値となった。また、表には示さなかったが、女子に比べて男子の方に読書嫌い傾向が多く見られる。

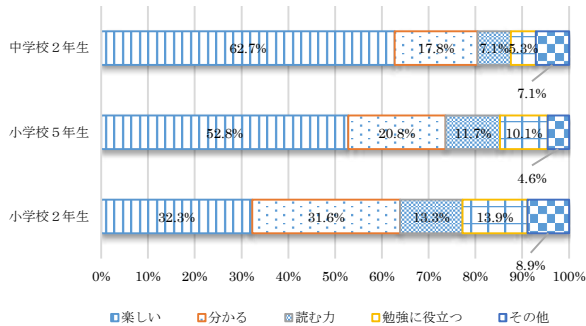


（図1） 問1 あなたは本を読むのが好きですか？

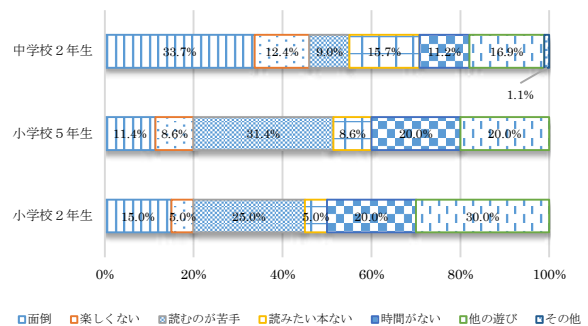
お子さんは絵本が好きですか？（保護者等が回答：園児ア問1）

(2) 読書好きな理由

読書が好きと答えた人のその理由（図2）は、いずれの世代も「楽しい」が一番であり、読む楽しさが読書を支える基本であることを示している。次に学習に関わる「（知らないことが）分かる」「読む力（がつく）」「勉強に役立つ」と続く。



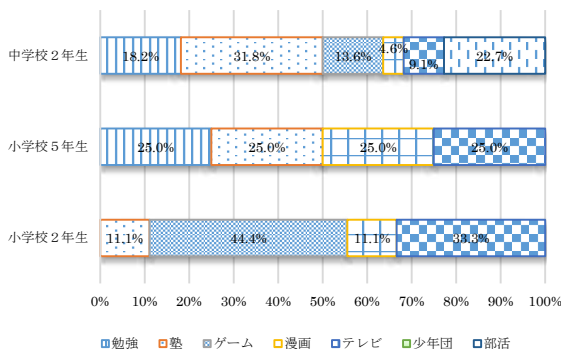
(図2) 問3 本を読むのが好きな理由はなにですか？



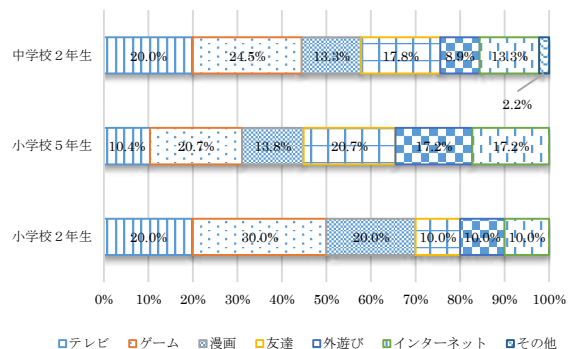
(図3) 問12 本が嫌いな理由はなにですか？
(問1で「嫌い」と答えた人)

逆に問1で読書嫌いと答えた人の理由（図3）としては、黙読となったことによる読むことの「面倒」さや「読むのが苦手」「楽しくない」が主な理由としてあげられた。意外なのは「時間がない」は小学2年生が20.0%であったものが、中学2年生では11.2%に下がっていることである。

次は少数の回答であり断定しがたいが、読書嫌いで「（本を読む）時間がない」「他の遊び（のほうが面白い）」と答えた理由（図3-2、図3-3）は、「ゲーム」「勉強」「塾」「漫画」がそれぞれの年代に影響を与えている。



(図3-2) 問13 本を読む時間がない理由はなにですか？
(問12で「時間がない」と答えた人)



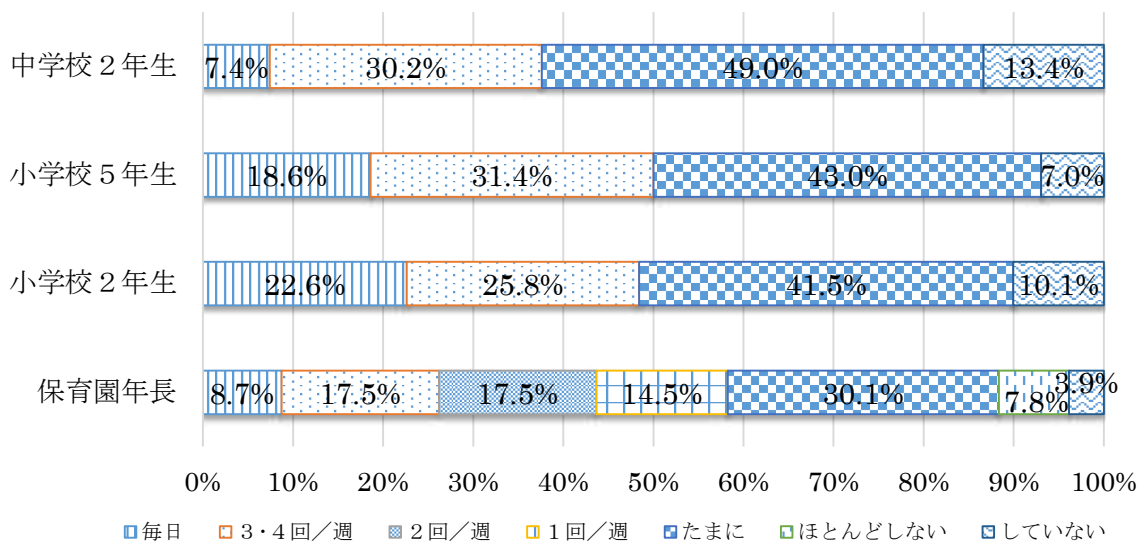
(図3-3) 問14 おもしろい遊びはなにですか？
(問12で「他の遊びのほうが楽しい」と答えた人)

(3) 読み聞かせの家庭での実施状況

家庭での読み聞かせの実施状況（保育園年長は保護者の回答、小・中学生は幼

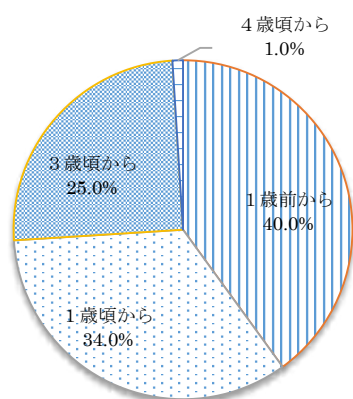
児期の記憶として回答) (図4) は、保育園年長児期にほとんどが親などから絵本の読み聞かせを受けている。ただ、保育園年長では頻度として「たまに」が30.1%であり、「毎日」は8.7%にとどまっている。また、3.9%から13.4%が「していない」と回答している。

読み聞かせをはじめた時期(図5)としては、「1歳前から」が40.0%、「1歳頃から」34.0%、「3歳頃から」25.0%、「4歳頃から」1.0%であり、99%の家庭では4歳までには読み聞かせを行っている。

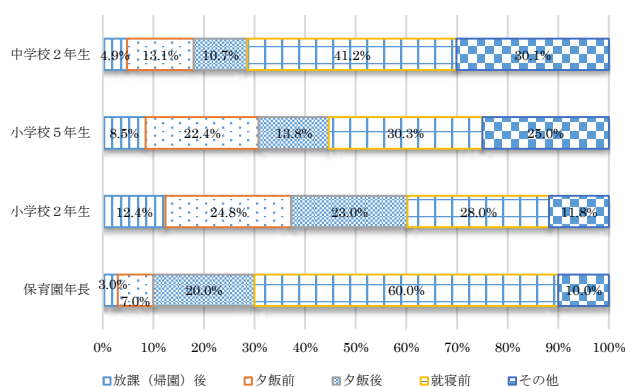


(図4) 問4 保育園のころ読み聞かせをしてもらっていましたか？
お子さんに絵本の読み聞かせをしていますか？
(保護者等が回答：保児ア問2)

また、読み聞かせの実施時間(図6)は保育園年長の60.0%の家庭で「就寝前」に行われているほか、「夕飯後」(20.0%)となっている。

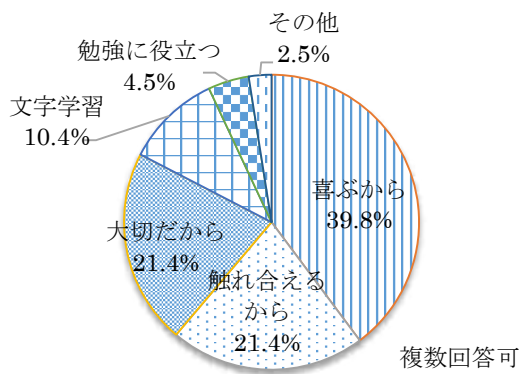


(図5) 問3 読み聞かせの開始時期は？

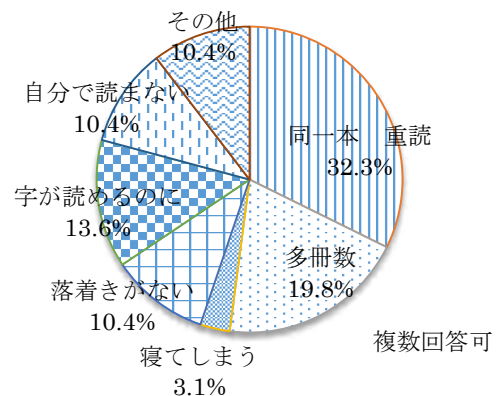


(図6) 問6 いつ本を読みますか？
おもにいつ読み聞かせをしていますか？
(保護者等が回答：保児ア問4)

読み聞かせをする理由(図7)の第1は、「喜ぶから」(39.8%)、「触れ合える」(21.4%)、「大切だから」(21.4%)の順であり、親子の楽しみの時間となっていることが伺える。



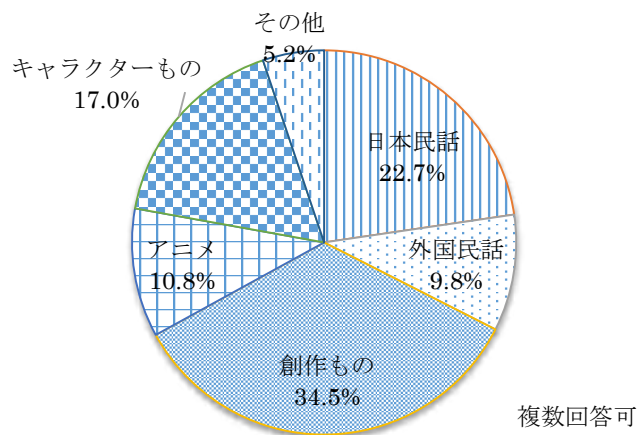
(図7) 問5 読み聞かせをしている理由は？



(図8) 問8 読み聞かせの中で気になること

一方、「文字学習」「勉強に役立つ」と考えている家庭もあわせて14.9%ある。また、読み聞かせの中で気になること(図8)は「同一本重読」(32.3%)や「多冊数」(19.8%)の子どもたちの旺盛な読書要求に応えている状況が見られる。同時に、「字が読める」のだから「自分で読んで」くれたらとの親の思いも伺える。

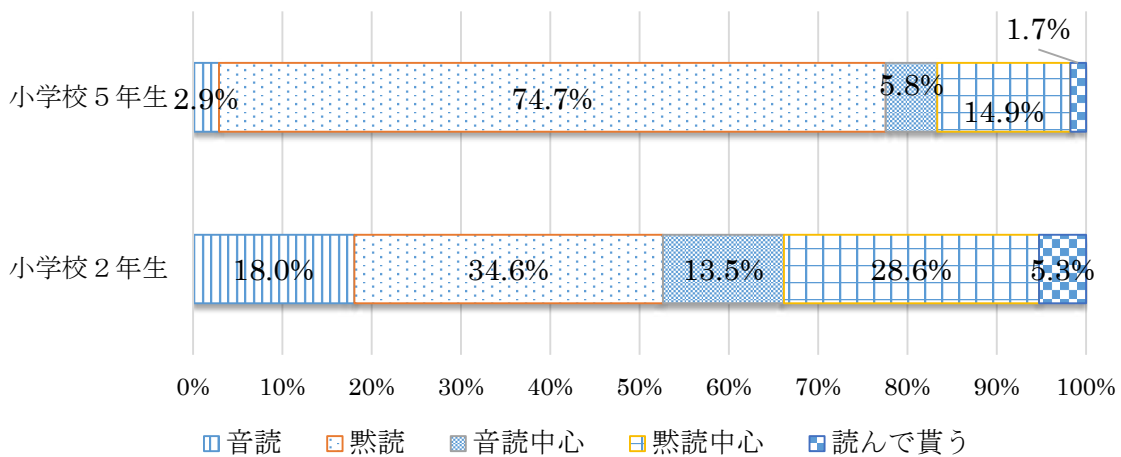
読まれる絵本のジャンル(図9)は、「創作もの」(34.5%)、「日本民話」を素材とした絵本(22.7%)に次いで「キャラクターもの」が17.0%、「アニメ」絵本10.8%と続き、「外国民話」絵本の9.8%をしのいでいる。



(図9) 問7 お子さんはどのような本が好きですか？

(4) 音読から黙読への移行

読み聞かせによる読書から音読をへて、小学2・3年生ごろに黙読に移行するといわれているが、本アンケートでは次のようである。



(図10) 問2 あなたの本の読み方は？

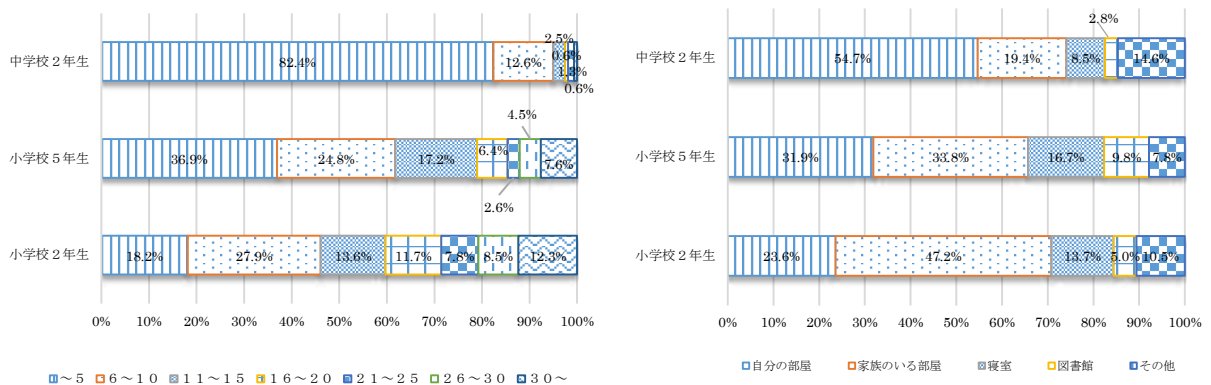
(図10) 小学2年生では「音読」が18.0%、「黙読」に移行した子どもが34.6%であり、「音読中心」(13.5%)、「黙読中心」(28.6%)と移行途中にある児童が約4割強である。また、「読んでもらう」が5.3%である。

小学5年生では「黙読」「黙読中心」が89.6%と約9割の児童が黙読を中心とする読書をしているが、1割の児童の黙読移行が行われていない。

(5) 読書状況

月に読む冊数(図11)は、「5冊未満」が小学2年生の18.2%、小学5年生の36.9%が中学2年生では82.4%に急増している。小学2年生のときに「10冊未満」「15冊未満」などの多く読んでいた児童も学年とともに低減しているが、「5冊未満」に比較して低減率が低い。

本を読む場所(図12)は、「家族のいる部屋」からプライベートな「自分の部屋」(中学2年生:54.7%)に変化している。

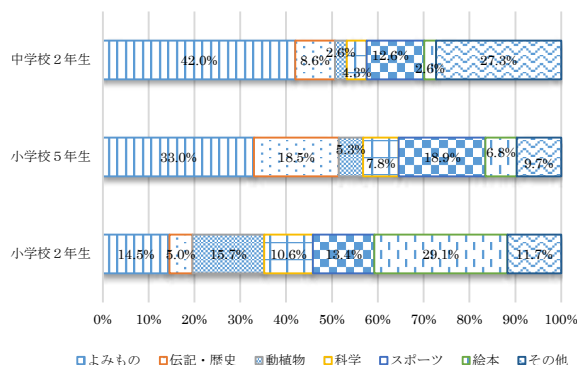


(図11) 問5 ひと月に何冊ぐらい本を読みますか？

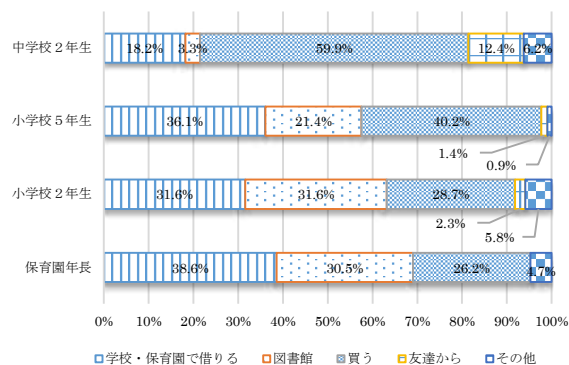
(図12) 問7 どこで本を読むことが多いですか？

また、読まれているジャンル(図13)は、小学2年生での「絵本」から「よみも

の「スポーツ」や「伝記・歴史」などへと徐々に移行している。また、中学2年生での「その他」への回答が多くなっているのは回答項目にない分野の読書傾向の多様化と思われる。

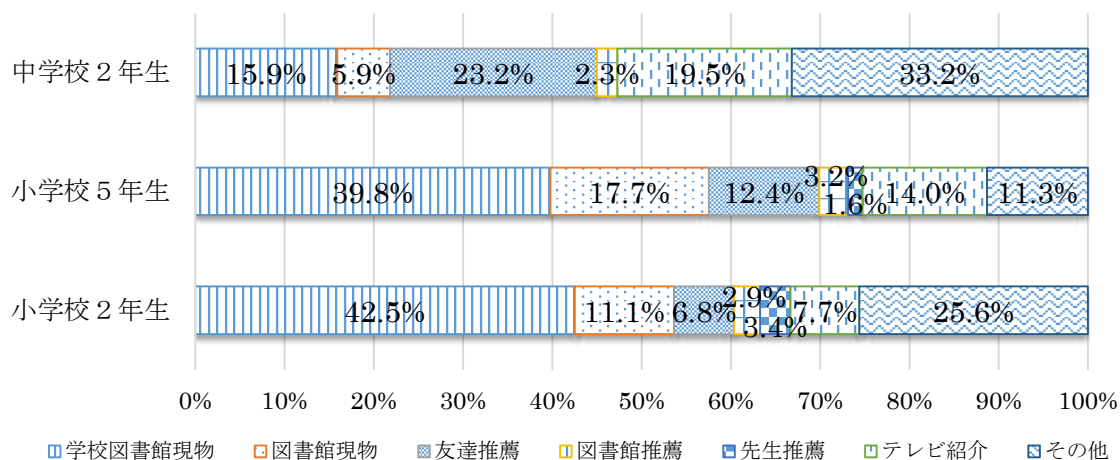


(図13) 問8 どんな本が好きですか？



(図14) 問9 読みたい本はどのようにして入手しますか？

本の入手先（図14）として、保育園年長では「保育園で借りる」が38.6%、次いで30.5%が「図書館」であり、「買う」が26.2%となっている。小学2年生では「学校で借りる」「図書館」がともに31.6%であったものが、小学5年生では「学校で借りる」がやや増え36.1%に、中学2年生では18.2%と低減しているが、結びつきが維持されている。「図書館」は中学2年生では3.3%に激減しており、「図書館」での入手も低減傾向にある。それに伴って「買う」は、保育園年長の26.2%、小学2年生の28.7%から中学2年生では59.9%に増加するなど、学校や図書館への依存度が下がっている。「友だちから（借りる）」（12.4%）も中学2年生では目立ってきている。

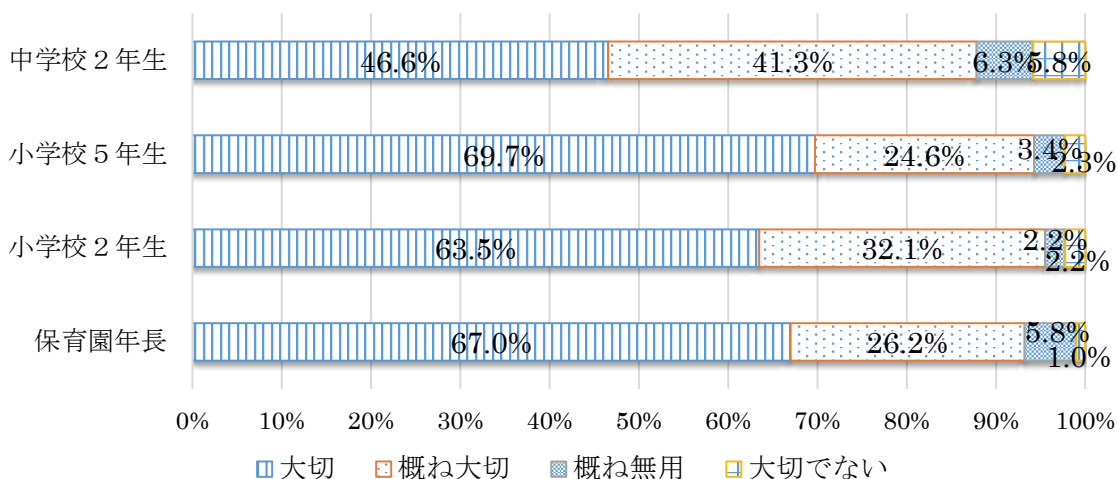


(図15) 問11 自分ではどのようにして選びますか？

本の選び方（図15）は、実物を見て選ぶが徐々に友達からの情報やテレビ等のマスコミ情報を元を選ぶ傾向に移行している。また、図書館や先生のお薦めが選択情報として低くなっている。

（6）読書は大切か

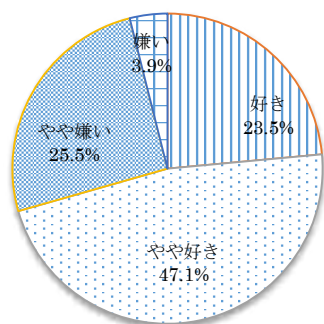
読書は大切かの設問（図16）には、「概ね大切」を含め大切と答えたのは、中学2年生の87.9%が最低で、保育園年長、小学2年生、小学5年生とともに93%以上となっている。反対の「大切でない」「概ね無用」が中学2年生では、12.1%に及んでいる。



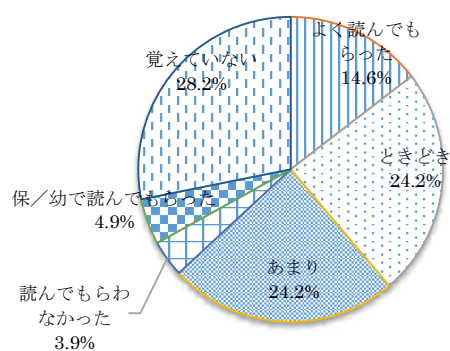
（図16） 問15 本を読むことは大切ですか？
お子さんが本を読むことが大切だと思いますか？（保児ア問11）

（7）親の読書体験

保育園年長の親の読書体験（図17）は、「好き」「やや好き」が70.6%であり、自分が幼少期に読み聞かせをしてもらっていたか（図18）では、「よく読んでもらった」「ときどき（読んでもらった）」は38.8%で、一方、「読んでもらわなかった」が3.9%であった。また、「覚えていない」は28.2%であった。



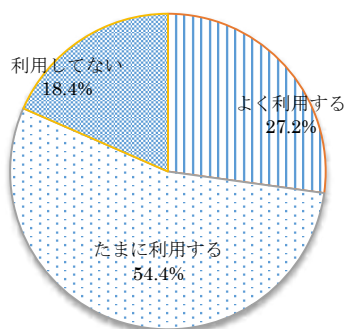
(図17) 問9 あなた(親)は読書が好きですか？



(図18) 問10 親の読み聞かせ体験

(8) ハートピア安八図書館の利用

保育園年長保護者のハートピア安八図書館の利用状況(図19)は、「よく利用する」は27.2%で、「たまに利用する」は54.4%である。概ね利用しているものの18.4%が利用していない。園児の旺盛な読書要求に対する絵本供給の中心は保育園蔵書となっている。



(図19) 問12 ハートピア安八図書館を利用しますか？

Ⅲ 読書関係施設の状況

(1) 保育園

- 蔵書冊数は、園の規模にも関係していると思われるが1,500冊から3,500冊あり、貸出しや読み聞かせに活用されている。蔵書冊数は量的に充実しているが、受入れ冊数では低い数値となり、定期的な更新が行われているとは言いがたい状況であり、蔵書の魅力度が低下していることが推察される。
- 貸出しは全園で、隔週に貸出日があり、園児にとってもっとも身近な読書提供施設として存在し、年間の貸出冊数は6園合計で2万冊に及んでいる。
- 読み聞かせは毎日の保育活動の一環として日常的に行われているほかに、誕生日会等の催し物としても月に数回行われている。
- 自由筆記から毎日の保育活動の中で読み聞かせや読書を積極的に取り入れていることが感じ取られる。

(2) 小学校

- 蔵書は1万冊から2万冊であり文学系が約半数の構成になっており、読書センターの機能と学習センターとのバランスが考慮されている。
- 年間に定期的に4~5%程度の購入が行われ、拡充、更新がなされている。
- 貸出しは3校合計約87千冊で、ハートピア安八図書館の絵本、児童書の貸出冊数を上回り、児童にとってもっとも重要な読書施設となっている。
- 朝の読書、いわゆる「朝読」は提唱されており、毎日実施とまではいかないものの全校児童を対象に、週1日（牧小学校は週2日）始業時間帯に行うようカリキュラムの中に位置づけられている。
- 読み聞かせの会は保護者、ボランティアによって、定期的で開催されるなど、学校、保護者、地域が一体となって読書に取り組んでいることが伺える。

(3) 中学校

- 蔵書的には、両校ともに約11千冊で、購入・更新は小学校と同様である。
- 貸出冊数は両校で6,731冊となっている。
- 朝読は登龍中学校では1・2年生の限定ではあるが毎日実施され、東安中学校では全生徒を対象に週3回始業時間帯に行われている。

(4) ハートピア安八図書館

- 絵本、児童書、紙芝居の点数は、約37千点所蔵し、開館して14年目であり、また、年間千冊程度の購入更新が行われていることから、比較的新しく魅力的な資料状況を維持しているものの、今後は経年と利用により魅力度が低下することが予測される。
- 貸出しは町外の利用も含め約72千冊となっている。
- 読み聞かせの会は職員が土曜日に3回、ボランティアが日曜日に1回を担当して開催している。参加者は7人から23人程度であるが、小学生の参加が少なくなり幼保年代中心となっている。
- お薦め本の紹介など読書情報の提供としては、「こどもとしょかんだより」（月間）や季節ごとのテーマ展示（3種）などを行っている。
- 出前図書館活動
遠隔地の低学年児童の図書館利用促進を目的に始まった活動は、全小学校で開設し、隔週に絵本を中心とした約500冊の図書を並べ、昼休みに貸出している。年間の貸出冊数は約7千冊であり、児童の読書を支え力となっている。

IV 子どもの読書活動推進計画の基本方針

◎『安八町第5次総合計画』

目標 1 明日を担うひとを育むまちづくり【子育て・教育】

安心して子育てができ、心身ともに健康で

幅広い視野をもった元気な子どもたちの笑顔が輝くまちを目指します。

“安八町の将来像 若者や子どもたちを優しく包摂するまちづくり”

◎子どもの読書活動推進指針

本に親しみ、本を楽しみ、本に学ぶ心豊かな子どもの育成

読書の楽しさを体験し、生涯にわたって本を愛する読書に

親しむ子どもの育成を目指し、発達段階に応じた読書活動を推進します。

(1) 子どもの読書の流れ

	乳・幼児期 (0歳～年長児)	学童期 (小学生)	青年期 (中学生・高校生ほか)
目標	「本との出会い」 親子のふれあいの中で本に親しみ、本の楽しさを体験する。	「読書の習慣化」 読書の楽しさや知る事の楽しさを知り、読書を習慣化します。	「本からの学びと活用」 読書を通して得た感動や知識等により自己を形成します。
読書方法	「読み聞かせ」	「一人読みへの移行」 (音読・黙読)	「多様な知識・考え方との対話・活用」
	親子共同読書	序章期 完成期	読書活用
	<ul style="list-style-type: none"> 本を元に親とふれあう中で愛情、信頼関係の確認を図る。 豊かな言葉の獲得を図る。 言葉のイメージ化、想像性を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 本からの感動体験を満たし、自己形成の基礎を築く。 知識を得る楽しさなど知的好奇心を喚起する。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書によって多様な情報を収集し、思考することにより、人生を切り開いていく力を身につける。
人的環境	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">親子共同の読書活動</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">一人読み読書へのスムーズな移行見守り活動</div> <ul style="list-style-type: none"> *愛情あふれる子育て環境の醸成 *性急な一人読みへの強制抑止 *見本となる家族の読書推進 *学童弱視防止の配慮 		
施設環境	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">読書活動を支えるための環境の整備</div> <ul style="list-style-type: none"> ・図書資料の充実 ・読書設備の整備、拡充 ・地域の読書推進機運の醸成 		

(2) 子どもの読書活動推進計画の基本目標

① 乳幼児期の楽しむ読書

読書は自由で自主的な営みであり、決して強制されるべきものではありませんが、幼少期の読み聞かせを中心とする本との出会いの重要性が言われており、イギリスで誕生したブックスタート事業が全国的運動として推進されています。それは、幼少期に母親を中心とする大人の愛情の中で、絵本と出会うことが文字や言葉を獲得していくことを容易にしていることが実証されているからです。親の声を通した文字や言語と絵を読むことによって文章の世界をイメージ化する力や想像性を育む力を身につけさせることは、人間形成にとって不可欠な大切なことだと考えます。また、子どもたちが物語の主人公となって未知の世界を体験すること、架空の世界に遊ぶことなどの二次的体験や知的好奇心の充足も成長に重要なことだと考えます。親の愛情に包まれた中での楽しみとしての読書が行われることはごく自然な子育て行為であると考えます。

また、アンケート結果に見られるように、乳幼児期の子どもが本嫌いと感じている親はいません。「本嫌いでも生まれてきた子どもはいない」のだと主張したい。しかし、その後において読書離れが発生していく現実があります。少なくとも幼少期の本を読む(読んでもらった)楽しい経験を共有することが健全な子どもの成長に資すると考えます。幼少期の読書によって培われた情緒性・感受性、想像性、思考力が知識を獲得する読書力となり、生涯を通しての学びのスタートになると考えます。

② 学童期の一人読みへの円滑な移行

子どもの読書は、その発達段階により読み聞かせから文字が読めるようになり音読、黙読へと大きく形を変えることとなります。

それは、親子での楽しみの読書から、一人で文章を読み込んでいくという困難性と孤独な作業を伴う読書に進むことにほかなりません。幼少期に皆無であった読書への抵抗感が、小学校2年生での「やや嫌い」「嫌い」の12.0%につながり、さらに中学校2年生では30%を超える読書嫌いのつまずきを誘発する重要な時期です。一人読みへの円滑な移行のために、親をはじめとする子どもを取り巻く大人の見守りが重要となります。文字が読めることと文が読めることの混同や、年齢的強制など保護者や大人の子どもへの対応が円滑な読書活動移行の妨げの一因となっていると考えられることです。それは、「字が読めるのだから」「1年生になったのだから」などの、自立を促す親の素朴な願いでもあります。しかし、文字を豊かにイメージ化することができていない子どもにとっては、厳しい言葉であり、読書の困難さに対面することとなります。ひいては読書嫌いを助長することにもなりかねません。親の愛情が読書の芽を摘む要因のひとつとなっていたとしたら残念なことです。「読んでもらう」は、5.3%（小学校2年生）

ですが出来ればもっと読んでほしいとの思いが数字上に感じられます。一人読みへの移行を促進しなければならないと考えます。

③ 感動や知識との出会いの読書

子どもを取り巻く社会環境も急激に変化します。子どもたちの場面は家庭から幼稚園・保育園、小学校、中学校、高等学校へと広がります。そして、受験という問題が絡まった中で成長していくことになります。多感な青年期に感動的な文学との出会いや未知の知識や考え方との出会う読書へと進むことを願うものです。

いずれの成長段階にあっても、幼少期の楽しい読書経験が生涯を通しての読書の基盤となっていることを確信し、それぞれの発達段階にある子ども期における読書の実践を推進し、読書を通じて人生をより豊かに生きていくことを願いとし、子どもの読書活動推進計画を進めていきます。

- (1) 子どもが読書に親しむ家庭における読書推進
- (2) 子どもが本と出会い親しむ機会の提供機能の充実と環境整備
- (3) 子どもの読書を支え、推進する体制の整備

V 子どもの読書活動推進計画の方策

安八町では、保健センター、保育園、小学校、中学校、そしてハートピア安八図書館で子どもの読書が子どもの成長に果たす重要な役割があることが旧来から認識され、それぞれの立場や機能の中で読書推進が行われてきました。読書活動推進計画の策定はしていなかったが、それは決して他の市町に勝るとも劣らぬ活動として続けられてきました。

しかし、今般の読書アンケートや読書関係施設調査から課題や改善点が示されました。これらを前記の読書活動推進の基本方針に引き合わせ、具体的な方策を推進していくことが求められています。

(1) 子どもが読書に親しむ家庭における読書推進

幼児期の読書は家庭・保護者抜きでは考えられません。また、親だけでなく家庭全体の協力も欠かせません。広く読書の大切さを啓発していきます。

① ブックスタートの類似事業の継続と正規のブックスタート事業への転換の検討

保健センターとの連携で実施しているブックスタートの類似事業では、離乳食教室参加者に対し、幼少期の読書、読み聞かせの大切さや図書館・児童館の利用を保護者に伝える活動を行っています。読み聞かせが各家庭に根付き、町の伝統となるよう引き続き実施していきます。併せて、正規のブックスタートの実施に向けた検討をします。

② 保育園での読み聞かせ活動と絵本の貸出事業の継続的な実施

保育園では月に数回の読み聞かせの会が保育の一環として行われており、園児にとっては読書の楽しさや絵本の面白さを味わう機会となっています。本好きへのきっかけとなり、家庭での読み聞かせに繋がる活動となっています。また、絵本の貸出しが家庭での読書実践に大きな役割を果たしていることから継続的に実施します。

(2) 子どもが本と出会い親しむ機会の充実と環境整備

子どもたちが安心して選ぶことのできる豊富で新鮮で魅力的な蔵書が、子どもたちの読書を触発する力を持つことから、蔵書の拡充を含めた読書環境の整備に努めます。

① 保育園の読書環境の拡充

- ・ 保育園での読み聞かせ、貸出しを支えている蔵書は、量的には確保されているものの、魅力的な蔵書と言いがたい状況にあることから定期的、計画的な購入を検討する。

② 学校図書館の読書センター機能の拡充

- ・小学校3校合計の貸出冊数は蔵書の約2倍にあたる約86千冊あり、高い利用度となっており、児童の読書を支えていることがわかります。貸出日の拡充や「朝読」の継続、拡充に努めます。
- ・読書祭など読書推奨活動の拡充に努めます。

③ 学校図書館蔵書の拡充

- ・学校図書館では「学校図書基準」(局長通達)等で示された基準により、蔵書冊数は確保されていますが、基準にない年間購入冊数が蔵書の新鮮さ、魅力度に関係しており、魅力の低下は読書意欲にも繋がると考えられます。蔵書の計画的な更新、拡充に努めます。

※参考 SLA 学校図書館メディア基準

$$\text{蔵書冊数} \times 0.1 + 1 \text{ 冊} \times \text{児童生徒数} = \text{年間購入冊数}$$

④ 「朝の読書」の継続実施

- ・読書の習慣化を推進するため「朝読」の実施回数の拡充を検討します。

⑤ ハートピア安八図書館の読書環境の拡充

- ・図書購入費の削減傾向の中で更新率が3%にとどまり、図書館の貸出点数の低下にも影響している可能性が高いと考えられる。10%程度の更新率維持に努めます。
- ・読み聞かせの会の充実を図ります。
- ・お薦め本リスト、展示の充実に努めます。
- ・ヤングアダルト資料の拡充に努めます。
- ・子どもの読書の日(4月23日)関連行事を企画実施します。
- ・ブックトークに向けた研修を実施します。
- ・広報資料の充実を図ります。
- ・出前図書館活動の充実を図るため専用車(BM)の配置を検討します。

(3) 子どもの読書を支え、推進する体制の整備

子どもの読書は単に読書施設が個々に行うことでは効果が薄くなることが考えられます。各機関が情報交換、研修などを連携して行うことが望まれます。

① 子どもの読書連絡協議会の設置

本推進計画の動向を確認するなど定期的、継続的に子どもの読書を考える場として、また情報交流の場として設置します。

② 絵本、児童書の情報センター機能

絵本や児童書の選定は新刊本にこだわる必要性は低いですが、出版情報や本を知ることは大切なことです。しかし、現在の出版物流の状況を見ると困難な状況にあることから、図書館に集まる情報や本を中心に絵本、児童書を研究する場を設置します。

③ 読み聞かせ研修会の開催

集団に対する読み聞かせ等の読書活動には一定の技術や知識が必要であることから、保護者やボランティアなど子どもの読書に関わる人たちに対する研修の場を設けます。

④ 読書ボランティアの育成・支援

保護者や地域の読書に関わるボランティア活動を支えるため、知識、技術の研修や組織の育成を図ります。

- ・読み聞かせボランティア
- ・本の修理ボランティア

* 社会的課題への留意 *

スマホを片時も手放さない親が急増しており、子どもを見守る意識の希薄さや親子関係の疎遠性を生じさせている。このことが子どもの読書にも大きな影響を与えるのではないかと危惧される。

VI 参考資料

子どもの読書活動の推進に関する法律

平成13年 法律第154号

平成13年12月12日公布

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提

供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

- 2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。
- 3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

- 2 市町村は、子ども読書推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書推進基本計画及び都道府県子ども読書推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。
- 3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。
- 4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

○衆議院文部科学委員会における附帯決議

政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。

一 本法は、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり、行政が不当に干渉することのないようにすること。

二 民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。

三 子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことができる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。

四 学校図書館、公共図書館等が図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。

五 子どもの健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主判断に基づき提供に努めるようにすること。

六 国及び地方公共団体を実施する子ども読書の日趣旨にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

子どもの読書実態調査アンケート

(対象：5歳児の保護者)

平成25年12月実施

「安八町子どもの読書活動推進計画」を策定する基礎調査としてアンケートを実施するものです。ご協力いただきますようお願いします。

設問のあてはまる番号に○を付けてください。

記入にあたって

お子さんの性別

①男 ②女

あなた（記入者）とお子さんの続柄

①母親 ②父親 ③祖母 ④祖父 ⑤その他（ ）

問1 お子さんは絵本が好きですか。

①好き ②どちらかといえば好き ③どちらかといえば嫌い
④嫌い ⑤どちらともいえない

問2 お子さんに絵本の「読み聞かせ」をしていますか。

①毎日 ②週に3・4日 ③週に2日程度 ④週に1回程度
⑤たまに ⑥ほとんどしていない
⑦していない・・・「問9」へ進んでください

問3 お子さんにいつ頃から「読み聞かせ」をしていますか。

①1歳前から ②1歳頃 ③3歳頃 ④4歳頃
⑤5歳頃

問4 おもにいつ「読み聞かせ」をしていますか。

①保育園から帰った時 ②夕食の前 ③夕食後
④寝る前 ⑤その他（ ）

問5 あなたがお子さんに「読み聞かせ」をしている理由はなんですか。（複数回答可）

①子どもが喜ぶから ②子どもと触れあえるから
③読書が大切だと思うから ④文字を覚えるから
⑤勉強に役立つから ⑥その他（ ）

問6 「読み聞かせ」のための絵本は、どのように手に入れていますか。

（複数回答可）

①保育園で借りる ②図書館で借りる
③本屋で買う。 ④ともだちから借りる

- ⑤その他（ ）
- 問7 お子さんは、どんな絵本が好きですか。（複数回答可）
 ①日本の民話・昔話絵本 ②外国の民話・昔話絵本 ③現代作家の創作絵本
 ④アニメ絵本 ⑤キャラクターもの絵本
 ⑥その他（ ）
- 問8 「読み聞かせ」をしていて、お子さんの様子で気になることがありますか。
 （複数回答可）
 ①同じ本を何度も読ませる ②何冊も読ませる
 ③読んでいる途中で寝てしまう ④落ち着いて見（聞い）ていない
 ⑤字が読めるのに自分で読まない ⑥自分で読もうとしない
 ⑦その他（ ）
- 問9 あなた自身は、読書が好きですか。
 ①好き ②どちらかといえば好き ③どちらかといえば嫌い ④嫌い
- 問10 あなたは子どもの頃、親などから「読み聞かせ」をしてもらっていましたか。
 ①よく読んでもらった ②時々読んでもらった
 ③あまり読んでもらたことがない ④読んでもらったことがない
 ⑤保育園・幼稚園で読んでもらった ⑥覚えていない
- 問11 あなたは、お子さんが本を読むことが大切だと思いますか。
 ①とても大切だと思う ②大切だと思う
 ③どちらかといえば大切だと思う ④大切だと思わない
- 問12 ハートピア安八(図書館)を利用していますか。
 ①よく利用している ②たまに利用している ③利用していない
- 問13 ハートピア安八図書館、保育園の読書活動に対するご希望・ご意見がありましたらお書きください。

図書館へ
保育園へ

ありがとうございました。

保育園年長アンケート 集計

設 問	回 答							合計
	1	2	3	4	5	6	7	
園児性別	男	女						
	64 62.1%	39 37.9%						103 100.0%
記入者	母	父	祖母	祖父	その他			
	101 99.0%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%			102 100.0%
1 絵本好きか	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	どちらでもない			
	67 65.1%	30 29.1%	0 0.0%	0 0.0%	6 5.8%			103 100.0%
2 読み聞かせ実施	毎日	3・4回/週	2回/週	1回/週	たまに	ほとんどしない	していない	
	9 8.7%	18 17.5%	18 17.5%	15 14.5%	31 30.1%	8 7.8%	4 3.9%	103 100.0%
3 開始時期	1歳前から	1歳頃から	3歳頃から	4歳頃から	5歳頃から			
	40 40.0%	34 34.0%	25 25.0%	1 1.0%	0 0.0%			100 100.0%
4 実施時間帯	帰園後	夕食前	夕食後	就寝前	その他			
	3 3.0%	7 7.0%	20 20.0%	60 60.0%	10 10.0%			100 100.0%
5 実施理由	喜ぶから	触れ合えるから	大切だから	文字学習	勉強に役立つ	その他		
	80 39.8%	43 21.4%	43 21.4%	21 10.4%	9 4.5%	5 2.5%		201 100.0%
6 絵本の入手方法	園で借りる	図書館で	買う	友達から	その他			
	81 38.6%	64 30.5%	55 26.2%	0 0.0%	10 4.7%			210 100.0%
7 好きなジャンル	日本民話	外国民話	創作もの	アニメ	キャラクターもの	その他		
	44 22.7%	19 9.8%	67 34.5%	21 10.8%	33 17.0%	10 5.2%		194 100.0%
8 子どもの様子	同一本 重読	多冊数	寝てしまう	落ち着きがない	字が読めるのに	自分で読まない	その他	
	31 32.3%	19 19.8%	3 3.1%	10 10.4%	13 13.6%	10 10.4%	10 10.4%	96 100.0%
9 親の読書好嫌	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い				
	24 23.5%	48 47.1%	26 25.5%	4 3.9%				102 100.0%
10 読み聞かせ経験	良く読んで貰った	ときどき	あまり	読んで貰わなかった	保/幼で	覚えていない		
	15 14.6%	25 24.2%	25 24.2%	4 3.9%	5 4.9%	29 28.2%		103 100.0%
11 読むことは	とても大切	大切	やや大切	大切に思わない				
	69 67.0%	27 26.2%	6 5.8%	1 1.0%				103 100.0%
12 ハートピア利用	よく利用	たまに	利用してない					
	28 27.2%	56 54.4%	19 18.4%					103 100.0%

13 図書館への意見

他の地域から好評
大人の現代小説・時代小説の冊数が少ない。
おすすめ本を年齢別に紹介してほしい。
小学生向けのイベントを増やしてほしい
子ども連れでも借り易い環境
読み聞かせの日程等をPR
持ち込み可の自習机(室)があってほしい。
絵本の区分が分からず探しにくい。
絵本の新刊を増やしてほしい。

保育園への意見

毎週絵本の貸し出しをしてほしい。
本をたくさん読んでもらってありがたい。
期間を短く、貸し出ししてほしい。
貸し出し冊数の増加
読み聞かせの時間の増
年齢に応じた本の貸出
絵本を毎週借りたい。
時間を決めずにいつでも借りたい。

子どもの読書実態調査アンケート

(対象：小学2年生・小学5年生・中学2年生)

平成25年12月

「安八町子どもの読書活動推進計画」を策定する基礎調査としてアンケートを実施するものです。ご協力いただきますようお願いします。

設問のあてはまる番号に○を付けてください。

あなたは男子ですか。女子ですか。 ①男子 ②女子

問1 あなたは本を読むのが好きですか。
①好き ②どちらかといえば好き ③どちらかといえば嫌い ④嫌い

問2 あなたの本の読み方は
①声を出して読む（音読） ②声を出さずに読む（黙読）
③声を出さずに読むことがあるが、声を出して読むことが多い。
④声を出して読むこともあるが、声を出さずに読むことが多い。
⑤読んでもらうことが多い。

問3 問1で ①「好き」②「どちらかといえば好き」とこたえた人に聞きます。
好きな理由はなにですか。
①楽しいから ②知らないことがわかるから
③読む力がつくから ④勉強のためになるから
⑤その他（ ）

問4 保育園（3歳から5歳）のころは、読み聞かせをしてもらっていましたか。
①毎日読んでもらっていた ②ほぼ毎日読んでもらっていた
③たまに読んでもらっていた ④読んでもらっていない

問5 1か月になんさつくらい本を読みますか。（ざっし・まんがをのぞく）
①1～5さつ ②6～10さつ ③11～15さつ
④16～20さつ ⑤21～25さつ ⑥26～30さつ
⑦31さつ以上 ⑧読まない

問6 放課後や休みの日には、いつ本を読みますか。
①学校から帰ったらすぐ ②ばんごはんまでの時間 ③ばんごはんの後
④寝る前 ⑤その他（ ）

問7 どこで読むことがおおいですか。
⑤ 自分の部屋 ②家族のいる部屋 ③寝室 ④ 図書館
⑤その他（ ）

- 問 8 どんな本が好きですか。
①よみもの ②伝記でんきやれきしの本 ③どうぶつやしよくぶつの本
④かがくの本 ⑤スポーツの本 ⑥絵本
⑦その他 ()
- 問 9 読みたい本はどのようにして手に入れますか。
①学校の図書室(学級文庫)ぶんこで借りる ②ハートピア図書館で借りる
③本屋で買う。買ってもらう。 ④友だちから借りる
⑤その他 ()
- 問 10 読む本はだれがえらびますか。
①自分でえらぶ ②親おやや大人がえらぶ ③その他 ()
- 問 11 自分でえらぶときどのようにしてえらびますか。
①学校図書館で本を見て ②町の図書館で本を見て
③友だちがすすめてくれた本 ④図書館がすすめている本
⑤先生がすすめている本 ⑥テレビで紹介しょうかいしていた本
⑦その他 ()
- 問 12 問 1 で③「どちらかといえばきれい」④「きれい」とこたえた人に聞きます。
す。きれいな理由はなんですか。
①読むのがめんどうだから ②楽しくない(つまらない)から
③文章ぶんしょうを読むのがにがてだから ④読みたい本がない
⑤本を読む時間がないから 問 13 へ
⑥ほかの遊びあそのほうがおもしろいから 問 14 へ
⑦その他 ()
- 問 13 問 12 で「本を読む時間がないから」とこたえた人に聞きます。時間がな
い理由と思われるものをえらんでください。
①勉強 ②じゆく・習いごと ③ゲーム機きあそび ④まんが
⑤テレビ ⑥スポーツ少年団しょうねんだんの活動かつどう ⑦部活ぶかつ ⑧インターネット
⑨その他 ()
- 問 14 問 12 で「ほかの遊びのほうがおもしろいから」とこたえた人にききます。
その遊びはなんですか。
①テレビ ②ゲーム機遊び ③まんが ④ともだちと遊ぶ
⑤外遊び ⑥インターネット ⑦その他 ()
- 問 15 あなたは、本を読むことが大切だと思いますか。
①大切だと思う ②どちらかといえば大切だと思う
③あまり大切だとは思わない ④大切だと思わない

ありがとうございました。

小学2年生アンケート 集計

設 問	回 答							合計
	1	2	3	4	5	6	7	
児童性別	男	女						
	76	84						160
	47.5%	52.5%						100.0%
1 読書好きか	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	どちらでもない			
	108	23	14	4	1			150
	72.0%	15.3%	9.3%	2.7%	0.7%			100.0%
2 読書法	音読	黙読	音読中心	黙読中心	読んで貰う			
	24	46	18	38	7			133
	18.0%	34.6%	13.5%	28.6%	5.3%			100.0%
3 好きな理由	楽しい	分かる	読む力	勉強に役立つ	その他			
	51	50	21	22	14			158
	32.3%	31.6%	13.3%	13.9%	8.9%			100.0%
4 幼児期の読み聞かせ経験	毎日	ほぼ毎日	たまに	なし				
	36	41	66	16				159
	22.6%	25.8%	41.5%	10.1%				100.0%
5 ひと月の読書量	～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	30～	
	28	43	21	18	12	13	19	154
	18.2%	27.9%	13.6%	11.7%	7.8%	8.5%	12.3%	100.0%
6 読む時間帯	放課後	夕飯前	夕飯後	就寝前	その他			
	20	40	37	45	19			161
	12.4%	24.8%	23.0%	28.0%	11.8%			100.0%
7 読む場所	自分の部屋	家族のいる部屋	寝室	図書館	その他			
	38	76	22	8	17			161
	23.6%	47.2%	13.7%	5.0%	10.5%			100.0%
8 好きな分野	よみもの	伝記・歴史	動植物	科学	スポーツ	絵本	その他	
	26	9	28	19	24	52	21	179
	14.5%	5.0%	15.7%	10.6%	13.4%	29.1%	11.7%	100.0%
9 入手方法	学校で借りる	図書館	買う	友達から	その他			
	54	54	49	4	10			171
	31.6%	31.6%	28.7%	2.3%	5.8%			100.0%
10 選択者	自分	親・大人	その他					
	150	9	2					161
	93.2%	5.6%	1.2%					100.0%
11 選び方	学校図書館現物	図書館現物	友達推薦	図書館推薦	先生推薦	テレビ紹介	その他	
	88	23	14	6	7	16	53	207
	42.5%	11.1%	6.8%	2.9%	3.4%	7.7%	25.6%	100.0%
12 嫌いの理由	面倒	楽しくない	読むのが苦手	読みたい本ない	時間がない	他の遊び	その他	
	3	1	5	1	4	6	0	20
	15.0%	5.0%	25.0%	5.0%	20.0%	30.0%	0.0%	100.0%
13 時間がない理由	勉強	塾	ゲーム	漫画	テレビ	少年団	部活	
	0	1	4	1	3	0	0	9
	0.0%	11.1%	44.5%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
14 遊び	テレビ	ゲーム	漫画	友達	外遊び	インターネット	その他	
	2	3	2	1	1	1	0	10
	20.0%	30.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	100.0%
15 読書観	大切	概ね大切	概ね無用	大切でない				
	113	57	4	4				178
	63.5%	32.1%	2.2%	2.2%				100.0%

小学5年生アンケート 集計

設 問	回 答							合計
	1	2	3	4	5	6	7	
児童性別	男	女						
	98	77						175
	56.0%	44.0%						100.0%
1 読書好きか	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	どちらでもない			
	93	60	17	5	0			175
	53.1%	34.3%	9.7%	2.9%	0.0%			100.0%
2 読書法	音読	黙読	音読中心	黙読中心	読んで貰う			
	5	130	10	26	3			174
	2.9%	74.7%	5.8%	14.9%	1.7%			100.0%
3 好きな理由	楽しい	分かる	読む力	勉強に役立つ	その他			
	104	41	23	20	9			197
	52.8%	20.8%	11.7%	10.1%	4.6%			100.0%
4 幼児期の読み聞かせ経験	毎日	ほぼ毎日	たまに	なし				
	32	54	74	12				172
	18.6%	31.4%	43.0%	7.0%				100.0%
5 ひと月の読書量	～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	30～	
	58	39	27	10	4	7	12	157
	36.9%	24.8%	17.2%	6.4%	2.6%	4.5%	7.6%	100.0%
6 読む時間帯	放課後	夕飯前	夕飯後	就寝前	その他			
	16	42	26	57	47			188
	8.5%	22.4%	13.8%	30.3%	25.0%			100.0%
7 読む場所	自分の部屋	家族のいる部屋	寝室	図書館	その他			
	65	69	34	20	16			204
	31.9%	33.8%	16.7%	9.8%	7.8%			100.0%
8 好きな分野	よみもの	伝記・歴史	動植物	科学	スポーツ	絵本	その他	
	68	38	11	16	39	14	20	206
	33.0%	18.5%	5.3%	7.8%	18.9%	6.8%	9.7%	100.0%
9 入手方法	学校で借りる	図書館	買う	友達から	その他			
	79	47	88	3	2			219
	36.1%	21.4%	40.2%	1.4%	0.9%			100.0%
10 選択者	自分	親・大人	その他					
	168	2	0					170
	98.8%	1.2%	0.0%					100.0%
11 選び方	学校図書館現物	図書館現物	友達推薦	図書館推薦	先生推薦	テレビ紹介	その他	
	74	33	23	6	3	26	21	186
	39.8%	17.7%	12.4%	3.2%	1.6%	14.0%	11.3%	100.0%
12 嫌いの理由	面倒	楽しくない	読むのが苦手	読みたい本ない	時間がない	他の遊び	その他	
	4	3	11	3	7	7	0	35
	11.4%	8.6%	31.4%	8.6%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
13 時間がない理由	勉強	塾	ゲーム	漫画	テレビ	少年団	部活	
	2	2	0	2	2	0	0	8
	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
14 遊び	テレビ	ゲーム	漫画	友達	外遊び	インターネット	その他	
	3	6	4	6	5	5	0	29
	10.4%	20.7%	13.8%	20.7%	17.2%	17.2%	0.0%	100.0%
15 読書観	大切	概ね大切	概ね無用	大切でない				
	122	43	6	4				175
	69.7%	24.6%	3.4%	2.3%				100.0%

中学2年生アンケート 集計

設 問	回 答							合計
	1	2	3	4	5	6	7	
生徒性別	男	女						
	95 46.6%	109 53.4%						204 100.0%
1 読書好きか	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	どちらでもない			
	66 32.3%	76 37.3%	51 25.0%	11 5.4%	0 0.0%			204 100.0%
2 読書法	音読	黙読	音読中心	黙読中心	読んで貰う			
	98 48.0%	94 46.1%	2 1.0%	10 4.9%	0 0.0%			204 100.0%
3 好きな理由	楽しい	分かる	読む力	勉強に役立つ	その他			
	106 62.7%	30 17.8%	12 7.1%	9 5.3%	12 7.1%			169 100.0%
4 幼児期の読み聞かせ経験	毎日	ほぼ毎日	たまに	なし				
	15 7.4%	61 30.2%	99 49.0%	27 13.4%				202 100.0%
5 ひと月の読書量	～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	30～	
	131 82.4%	20 12.6%	4 2.5%	1 0.6%	2 1.3%	0 0.0%	1 0.6%	159 100.0%
6 読む時間帯	放課後	夕飯前	夕飯後	就寝前	その他			
	10 4.9%	27 13.1%	22 10.7%	85 41.2%	62 30.1%			206 100.0%
7 読む場所	自分の部屋	家族のいる部屋	寝室	図書館	その他			
	116 54.7%	41 19.4%	18 8.5%	6 2.8%	31 14.6%			212 100.0%
8 好きな分野	よみもの	伝記・歴史	動植物	科学	スポーツ	絵本	その他	
	97 42.0%	20 8.6%	6 2.6%	10 4.3%	29 12.6%	6 2.6%	63 27.3%	231 100.0%
9 入手方法	学校で借りる	図書館	買う	友達から	その他			
	44 18.2%	8 3.3%	145 59.9%	30 12.4%	15 6.2%			242 100.0%
10 選択者	自分	親・大人	その他					
	187 94.5%	5 2.5%	6 3.0%					198 100.0%
11 選び方	学校図書館現物	図書館現物	友達推薦	図書館推薦	先生推薦	テレビ紹介	その他	
	35 15.9%	13 5.9%	51 23.2%	5 2.3%	0 0.0%	43 19.5%	73 33.2%	220 100.0%
12 嫌いの理由	面倒	楽しくない	読むのが苦手	読みたい本ない	時間がない	他の遊び	その他	
	30 33.7%	11 12.4%	8 9.0%	14 15.7%	10 11.2%	15 16.9%	1 1.1%	89 100.0%
13 時間がない理由	勉強	塾	ゲーム	漫画	テレビ	クラブ活動	部活	
	4 18.2%	7 31.8%	3 13.6%	1 4.6%	2 9.1%	2 9.1%	3 13.6%	22 100.0%
14 遊び	テレビ	ゲーム	漫画	友達	外遊び	インターネット	その他	
	9 20.0%	11 24.5%	6 13.3%	8 17.8%	4 8.9%	6 13.3%	1 2.2%	45 100.0%
15 読書観	大切	概ね大切	概ね無用	大切でない				
	88 46.6%	78 41.3%	12 6.3%	11 5.8%				189 100.0%

保育園読書環境調査

実施 平成25年12月

1	保 育 園 名	結 ・ ふたば ・ 森部 ・ 中央 ・ 牧 ・ 南條				
2	図 書 コ ー ナ ー	床面積	平米	本棚数	棚	
3	資 料					
	区 分	24年度末蔵書冊数	24年度受入冊数	うち購入冊数	うち寄贈冊数	
	(1) 絵 本	冊	冊	冊	冊	
	(2) 紙 芝 居	冊	冊	冊	冊	
	(3) そ の 他	冊	冊	冊	冊	
	合 計	冊	冊	冊	冊	
4	24年度資料購入費	町 費	千円			
		保 護 者 会 費 等	千円			
5	選 書	(1) 購入や寄贈受入れを、一定の基準（方針）で選定してしていますか。 ・ 成文の選定（方針）基準がある ・ 成文化した基準はないが職員が判断し選定している				
6	貸出状況	貸 出 日	毎週 ・ 隔週 ・ 月1回 ・ 不定期() ・ その他()			
		貸 出 対 象	年長 ・ 年中 ・ 年少 ・ 未満児 ・ 乳児			
		貸 出 期 間	1週間 ・ 2週間 ・ 10日間 ・ 20日間 ・ その他()			
		貸 出 冊 数	1冊 ・ 2冊 ・ 3冊 ・ その他()			
		本 選 び	本選びは園児が主体的におこなう。 ・ 保護者が選ぶ			
		貸 出 実 績 (24年度)	年長	年中	年少	未満児
		冊	冊	冊	冊	冊
7	絵本の読み聞かせなどの読書活動	(1) 開催周期：定期的開催（ 毎週 ・ 月に数回 ・ 年に数回 ・ イベント時 ） 実施していない				
		(2) 実 施 者： 職員 ・ ボランティア ・ その他				
		(3) 園児の様子				
8	絵本を活用した日常的な保育活動をしていますか。（例：お昼寝の前の読み聞かせなど）					
9	幼少期における読書（絵本）について、どのように考えてますか。ご意見・ご感想を記入してください。					
10	保育園で読書活動を推進するために必要と感じている事案がありましたら、忌憚なく記入してください。私的な見解でも結構です。（例：蔵書の充実など）					

小学校読書環境調査

実施日 平成25年12月

1	学 校 名	牧小学校 ・ 名森小学校 ・ 結小学校						
2	図 書 施 設 の 概 要	床面積	平米	棚数	棚			
3	資 料							
	区 分	24年度末蔵書冊数	24年度受入冊数	うち購入冊数	うち寄贈冊数			
	(1) 9 類 (文 学)	冊	冊	冊	冊			
	(2) 9 類 以 外	冊	冊	冊	冊			
	(3) 絵 本	冊	冊	冊	冊			
	(4) そ の 他	冊	冊	冊	冊			
	合 計	冊	冊	冊	冊			
4	24年度資料購入費	町 費	千円					
		保 護 者 会 費 等	千円					
5	選 書	(1)購入や寄贈受入れを、一定の基準(方針)で選定してしていますか。 ・成文の選定(方針)基準がある ・成文化した基準はないが職員が判断し選定している						
6	貸出状況	貸 出 日	毎週 ・ 隔週 ・ 月1回 ・ 不定期() ・ その他()					
		貸 出 期 間	1週間 ・ 2週間 ・ 10日間 ・ 20日間 ・ その他()					
		貸 出 冊 数	1冊 ・ 2冊 ・ 3冊 ・ その他()					
		貸 出 実 績 (24年度)	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
		冊	冊	冊	冊	冊	冊	
7	絵本の読み聞かせなどの読書活動	(1)開催周期 : 定期的開催(毎週・月に数回・年に数回・イベント時) 実施していない						
		(2)対象学年 :						
		(3)実施者 : 職員 ・ ボランティア ・ その他						
		(4)児童の様子						
8	「朝読」	(1)実施の有無	・実施している ・実施していない					
		(2)実施状況	対象	全校対象 ・ 一部学年()				
			周期	毎日 ・ 週3回 ・ 週2回 ・ 週1回 ・ 月2回程度 ・ その他()				
(3)実施時間	・始業時間帯 ・ 昼食時間帯前後 ・ 終業時間帯 ・ その他()							
9	少年期における読書について、どのように考えてますか。ご意見・ご感想を記入してください。							
10	学校での読書活動を推進するために必要と感じている事案がありましたら、忌憚なく記入してください。私的な見解でも結構です。(例:蔵書の充実など)							

中学校読書環境調査

実施日 平成25年12月

1	学 校 名	登龍中学校 ・ 東安中学校					
2	図 書 施 設 の 概 要	床面積	平米	棚数	棚		
3	資 料						
	区 分	24年度末蔵書冊数	24年度受入冊数	うち購入冊数	うち寄贈冊数		
	(1) 9 類 (文 学)	冊	冊	冊	冊		
	(2) 9 類 以 外	冊	冊	冊	冊		
	(3) 絵 本	冊	冊	冊	冊		
	(4) そ の 他	冊	冊	冊	冊		
	合 計	冊	冊	冊	冊		
4	24年度資料購入費	町 費	千円				
		保 護 者 会 費 等	千円				
5	選 書	(1)購入や寄贈受入れを、一定の基準（方針）で選定してしていますか。 ・成文の選定（方針）基準がある ・成文化した基準はないが職員が判断し選定している					
6	貸出状況	貸 出 日	毎週 ・ 隔週 ・ 月1回 ・ 不定期（ ） ・ その他（ ）				
		貸 出 期 間	1週間 ・ 2週間 ・ 10日間 ・ 20日間 ・ その他（ ）				
		貸 出 冊 数	1冊 ・ 2冊 ・ 3冊 ・ その他（ ）				
		貸 出 実 績 (24年度)	1年生	2年生	3年生		
		冊	冊	冊			
7	「朝読」	(1)実施の有無	・実施している ・実施していない				
		(2)実施状況	対象 ・全校対象 ・一部学年（ ）				
			周期 ・毎日 ・週3回 ・週2回 ・週1回 ・月2回程度 ・その他（ ）				
(3)実施時間	・始業時間帯 ・昼食時間帯前後 ・終業時間帯 ・その他（ ）						
8	読書奨励活動	・読書感想文コンクール、読書週間行事等読書奨励活動がありましたらお書きください。					
9							
10	学校での読書活動を推進するために必要と感じている事案がありましたら、忌憚なく記入してください。私的な見解でも結構です。（例：蔵書の充実など）						

安八町読書関係施設調査集計（平成25年12月調査）

1. 保育園の部

		結	ふたば	森部	中央	牧	南條
蔵書	絵本	2,360冊	1,600冊	1,450冊	2,483冊	3,000冊	1,238冊
	紙芝居	750点		315点	553点	540点	365点
受入冊数			20冊	—	24冊	12冊	
購入費					58.8千円		
貸出	貸出日	隔週	隔週	隔週	隔週	隔週	隔週
	貸出期間	1週間	1週間	1週間	1週間	1週間	1週間
	1回貸出冊数	1冊	1冊	1冊	1冊	1冊	1冊
	年間貸出冊数	7,650冊	810冊	1,104冊	7,824冊	1,300冊	870冊
読み聞かせ	催時的	数回／月	数回／月	数回／月	数回／月	数回／月	数回／月
	日常的	数回／日	数回／日	数回／日	数回／日	数回／日	数回／日

自由記入

【絵本を活用した保育事例】

・絵本を読む時間を設け絵本を楽しめるようにしている。また、部屋に絵本コーナーがあり、いつでも触れられるようになっている。

【読み聞かせ】

- ・朝の早期時間、延長時間など各クラスで行っている。
- ・自由遊び前、午睡前、間食後に読み聞かせをしている。
- ・絵本により基本的な生活習慣の自立を促すのに活用している。
- ・給食後、降園時のほか室内遊びの合間に読んでいる。
- ・次の単元へ移る前やお帰りの前に読み聞かせをしている。

【幼少期の読書】

- ・絵本は世界が広がり、心が育ち、知識が高まるなど、心豊かな人間育ててくれる。どんなお説教より効果があると思う。
- ・幼少期は読み聞かせを通じて、しっかり自分で聞く大切さを学ぶ時期だと思う。
- ・子どもにとって大切な時間であり、親子のふれあいとして、とても好ましい。
- ・親子の触れ合いや心の安定にとっても大切であり、子どもたちの想像力、イメージ力を豊かにする。
- ・生きていくうえでいろんな知恵を得ると思う。

【その他】

- ・大人も子どもが本好きになるよう手本になってほしい。
- ・絵本が古くなってきているので、新しくして充実を図りたい。

2. 小中学校の部

		名森小	結小	牧小	登龍中	東安中
蔵書	文学	10,266冊	6,182冊	4,784冊	4,522冊	5,478冊
	文学以外	11,498冊	4,951冊	4,490冊	6,208冊	5,599冊
	その他			890冊		75冊
	合計	21,764冊	11,133冊	10,344冊	10,908冊	11,152冊
受入冊数		457冊	562冊	408冊	365冊	477冊
購入費		500千円	375千円	325千円	600千円	600千円
貸出	貸出日	毎週	毎週	毎週	毎週	不定期
	貸出期間	1週間	1週間	1週間	1週間	2週間
	1回貸出冊数	2冊	2冊	1冊	1冊	1冊
	年間貸出冊数	35,491冊	32,788冊	17,435冊	1,472冊	5,259冊
読み聞かせ	開催頻度	年に数回	月に数回	月に数回		
	実施者	ボランティア	職・ボラ・保護者	職・ボラ・保護者		
朝の読書	対象	全校児童	全校児童	全校児童	1・2年生	全生徒
	実施日	週1回	週1回	週2回	毎日	週3回
	実施時間帯	始業時間帯	始業時間帯	始業時間帯	始業時間帯	始業時間帯

自由記入

【読書に対する考え方】

- ・読書活動と学力の相関関係があることが指摘されている。また、読書は「生きる力」の育成に繋がると考える。
- ・読書を通じて自分の考えを表現したり、人間形成の基盤になる心の教育の観点からも重要である。
- ・読書は、心を育て、知識を豊かにし、楽しみをあたえてくれるものであり、少年期の多感な時に読書をすることは大切なことである。
- ・少年期に読書の楽しさを味あわせたい。
- ・読書体験は感性を磨き表現力を豊かにするために欠かせないものである。
- ・読書を楽しむ側面と、資料として活用する側面のバランスに配慮して、活動を進める必要がある。
- ・家庭や地域との連携を進め、読書活動の機運を高めていくことも必要である。

【読書推進に必要なことなど】

- ・手じかな教室に読みたい本がたくさんあること。そのために新しい本で学級文庫を充実させたい。
- ・家庭や地域の協力。
- ・読書の個人差があること、読書傾向に偏りがあること、軽読書傾向があることが気になる。
- ・ハートピア安八図書館との連携をさらに深め、蔵書の充実を図ること。
- ・読書活動の時間の確保や授業における図書資料の活用。

安八町子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱

(目的)

第1条 安八町における子どもの読書活動を推進するため、子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）第9条第2項の規定に基づき、「安八町子ども読書活動推進計画」（以下、「計画」という。）を策定することを目的とする。

(設置)

第2条 安八町子ども読書活動推進計画を策定するため、安八町子ども読書活動推進計画策定委員会（以下、「委員会」という。）を設置する。

(組織)

第3条 委員は、別表の課等から選定された職員とする。

(役員)

第4条 委員会に次の役員を置く。

(1) 委員長 1人

(2) 副委員長 2人

2 委員長は、委員のうちから互選する。

3 副委員長は、委員長が指名する。

(役員職務)

第5条 委員長は、委員会を代表し会務を総括する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第6条 委員の任期は、平成25年3月31日までとする。ただし、委員に欠員が生じた場合は、その後任職員を充てるものとする。

(会議)

第7条 委員会は、必要に応じて委員長が招集し、委員長又は委員長の指名した者が議長を務める。

2 委員長が必要と認める場合は、関係者を出席させて意見又は説明を求めることができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、ハートピア安八において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、その都度委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成24年 8月21日から施行する。

安八町子ども読書活動推進計画策定委員

委員選出区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
民生部	福祉課	課長：服部 正樹	課長：坂 由紀子	課長：堀 隆志
	保育園	代表：丹羽 景子	代表：丹羽 景子	代表：丹羽 景子
	子育て支援センター	代表：丹羽 景子	代表：丹羽 景子	代表：丹羽 景子
	保健センター	所長：安藤加豆子	所長：安藤加豆子	所長：安藤加豆子
教育委員会	学校教育課	課長：竹中 一秋	課長：竹中 一秋	課長：宇佐見嘉之
	生涯学習課	次長：高木 祥子	課長：服部 正樹	課長：服部 正樹
	小中学校校長会	代表：渡辺 均	代表：渡辺 均	代表：戸田 栄治
	小中学校司書教諭	渡部 美智子	橋本 きよみ	橋本 きよみ
	小中学校司書	岩田 喜代美	岩田 喜代美	岩田 喜代美
	ハートピア安八	館長：船越 浩海	館長：船越 浩海	館長：船越 浩海
事務局	ハートピア安八	若山 弥生	田中 百合子	田中 百合子
		田中 百合子	梶井 芳景	梶井 芳景
		梶井 芳景		

安八町子どもの読書活動推進計画

平成28年3月発行

発行者：安八町

編集：安八町子ども読書活動推進計画策定委員会
(ハートピア安八 安八郡安八町氷取 30)